

8月4日は橋の日

橋の重要性を再認識

約400人が石橋公園清掃等

鹿児島「橋の日」推進協議会(会長・濱園茂木 県鋼橋塗装協同組合理事長、20団体)は4日、ごろ合わせで8月4日を「橋の日」としてスタートした鹿児島「橋の日」運動を鹿児島市の石橋公園に集結した参加者を前に、早朝から石橋記念公園に集合した参加者を前に、濱園会長が「平成8年にスタートした橋の日運動」



橋に感謝し清掃に励む参加者
＝鹿児島市の石橋記念公園で

博鹿児島国道事務所長(代読)、森山裕参議(代読)が「8・6水害を忘れることなく、ここに移動された5大石橋の偉大さを再認識し、充実した一日となるよう頑張ってください」「橋の歴史や文化を後世に語り継ぐためにも素晴らしい企画。けがのないように作業をしてほしい」と挨拶。また、柴立鉄彦県議と下村祐毅鹿児島市議も「何気なく利用している橋の重要性を再認識してほしい」「今日参加した皆さんが人と人の心を結ぶ架け橋となるよう願っている」と言葉を寄せた。

作業区域や作業上の注意の後、参加者はごみ袋やほうきを手に石橋記念公園内や隣接する祇園之洲公園、多賀山公園など一体の清掃作業をウォークラリーを兼ねて開始。公設の公園ということもあり、ごみはさほど散乱してはいなかったものの、無造作に生えた雑草を丁寧にむしり取ったり、公園敷地の囲いを越えて周囲のごみなどを回収するなど精力的に作業に励んでいた。また、公園の中央を流れる稲荷川でも(株)

東郷平八郎銅像、多賀山公園など5カ所に設けられたチェックポイントでスタンプをもらうスタンプラリーは、適度な距離というところもあり、史跡碑や案内板を見ながらごみを拾うなど参加者のほとんどが心地よい汗を流しながらクリア

したほか、昨年に引き続き竹迫志芳さんを中心にした生バンドの演奏や鹿児島出身の吉祥谷友歩さんの手話が振り付けされた歌も披露され、作業を終えた参加者は疲れをいやす歌声に聴き入っていた。

「橋の日」スケッチ大会

園児ら力強く石橋描く

清掃作業と合わせて実施された「橋の日」スケッチ大会は、市内の園児や小学生など約150人が参加して行われ、描き、素晴らしい作品が出品された。

会場内では友達や兄弟で肩を並べるように座って描く子供や、お母さんやおじいちゃん、清掃作業の合間を見て駆け寄るお父さんのアドバイスを受けながら描く子供らも見受けられ、ほのぼのとした雰囲気の中に楽しそうに描いていた。約2、3時間で仕上げなければならぬハンディの中で、創造性・独創性あふれる力強いタッチで描かれた作品が本部に提出された。無事、スケッチを

一人前になるため精進

石橋 真太郎さん

大学時代にアルバイト長と一緒に営業に奔走してお世話になっていし、営業のノウハウを学んでいます。先月、間近に控えた時にタイミングよく声を掛けてもらい入社しました。今では現場の管理を中心に、笹尾隆司営業部

2級施工土木管理技士の試験を受けましたが合格判定が届くまで不安でたまりません。一部の同僚に「丸坊

主にしたいな」と冗談半分で言っていたのですが、先日思い切った丸坊主にしてみました。実際、丸坊主で出勤するとみんな驚くかと思いきや「刑務所帰りみたいだ」と逆に冷やかされました。でも、自分ではとても気に入っています。

そろそろ結婚も考えなければいけないのですが、周囲から一人前と認められるまでお預けです。早く一人前になれるよう、日々精進です。

(葉月工業)

も年々規模が大きくなり、今回は装いも新たに従来の甲突川河畔から場所を移しての実施となった。8回目の開催となる今回は、折しも8・6水害から10年を迎える節目でもある。大きな水害を経験し、橋の重要性を改めて認識した10年前を思い出し、重要な役割を持つ橋に感謝を込めて清掃に取り組ましよう」と挨拶。続いて、来賓の奥村康



楽しく絵画に取り組んだスケッチ大会

平均台制作等のボランティアを実施し、関係者から感謝された。同会は、7年前から町内の小、中学校、保育所など公共施設を対象に毎年このボランティア活動を続けており、建築物や遊具など危険度診断も行い、その都度文書で行政に報告するなど活発な活動を続けている。

同日は、会員9人全員と土屋健一町長や水道課長ら町職員3人も、きらめきセンターに集合。平田会長が「この奉仕作業は皆さんの協力で7回目を迎えることができて、感謝しています」と挨拶。参加者は、4班に分かれ、サッシの網戸張り替え、物入れや棚の開き戸

調整、外柵張り替えと平均台造り等に終日汗を流した。池田哲郎建設水道課長は「今回は子供達の施設で環境が良くなり、予算的にも助かり、本当にありがたい」と感謝した。会員は次の通り。

(株)大塚建設 (株)鮫島工務店 堤建設(株) 永岡建設(株) 中丸建設(株) 田建設 北丸建設(株) 山田建設 米満建設(株)

西田橋周辺で奉仕活動

鹿児島橋梁構造物補修協議会

心に、河川敷のごみ拾いを行います。道路の通過車両には十分注意し、短時間で効率的な作業をお願いいたします」と挨拶。

会費らは、手袋とポリ袋を手渡され、西田橋と平田橋・高見橋間の甲突川河川敷を作業範囲に、空き缶・ペットボトルやごみ拾い、歩道橋えんぴ

財部町建築同志会(会長・平田義文)平田建設(社長)は2日、同町の保

保育園等で建具補修

ゴルフ会員権と株券・即現金買取



雑草を除去する会員
＝鹿児島市の西田橋で

鹿児島橋梁構造物補修協議会(市坪孝志理事長)と県交通安全施設工事委員会(重吉孝二会長)は「橋の日」の4日、鹿児島市の西田橋周辺で

の会員ら約40人が参加。同日朝、同市平之町の甲突川左岸にある8・6豪雨災害記念碑前に集合。黒木正徳市坪建設常務が「橋の日協議会本体は石

財部町建築同志会(会長・平田義文)平田建設(社長)は2日、同町の保

保育園等で建具補修

ゴルフ会員権と株券・即現金買取



きりハウス(株)